

長岡圏域冬期道路交通確保連携会議

議事概要

1. 日時 平成27年2月2日（火）10:00～12:00
2. 議事概要
 - 1) 平成28年1月集中豪雪の検証・対策検討会について
 - 本会議に臨時委員を招集し、今回の集中豪雪の検証と対策を検討する検討会を設けることについて合意された。
 - 2) 今回の対応状況について
 - 除雪、消雪能力を上回る記録的な集中降雪に加え、その後気温上昇による圧雪路面の悪化を要因として渋滞が発生し、除雪が円滑に進まなかった。
 - 24日以降、重点的に除雪を実施、渋滞している車両が支障となり思うように除雪が進まず、圧雪・スタック車両の発生につながった、また首都圏からの物流関係の大型トラックの中にはチェーンを着けていない車両もあり立ち往生した。
 - 26日12時から国道8号を通行止めにして集中的に除雪を実施、さらに夜19:00から午前3:00まで三条市猪子場新田～長岡市亀貝ICの集中除雪を実施し翌朝4:00までには渋滞が解消した。
 - 高速道路は強雪・強風による視界不良、路面の圧雪状況等から通行は危険有りと判断し通行止めを開始。隣接事務所からの除雪応援も加えたが降雪量が多く、本線及びインターチェンジの除雪に時間を要した。

3) 今後の会議の進め方について

- 今後、必要な場合（急激な異常降雪等により道路交通に多大な影響が予測される場合）は、速やかに「情報連絡本部」を設置することを確認。
- 所管にとらわれず状況が分かっている機関が速やかに情報を発信することを確認。長岡市（豪雪時緊急道路情報提供システム）へ情報を提供するとともに、周辺市町村及び広域へも情報提供することを再確認。
- 今後の検討項目について議論された。特に、道路利用者への情報提供が不十分だったとの認識から、「FMながおか」等のラジオの周波数を道路情報板で道路利用者に周知する等、情報提供の面については直ちにに取り組むことを確認した。
- 検証については、まず各機関それぞれで分析を始めて頂き、2月末を目途に「問題点と課題」を洗い出し、各機関の検討結果を持ち寄ることとした。

以上